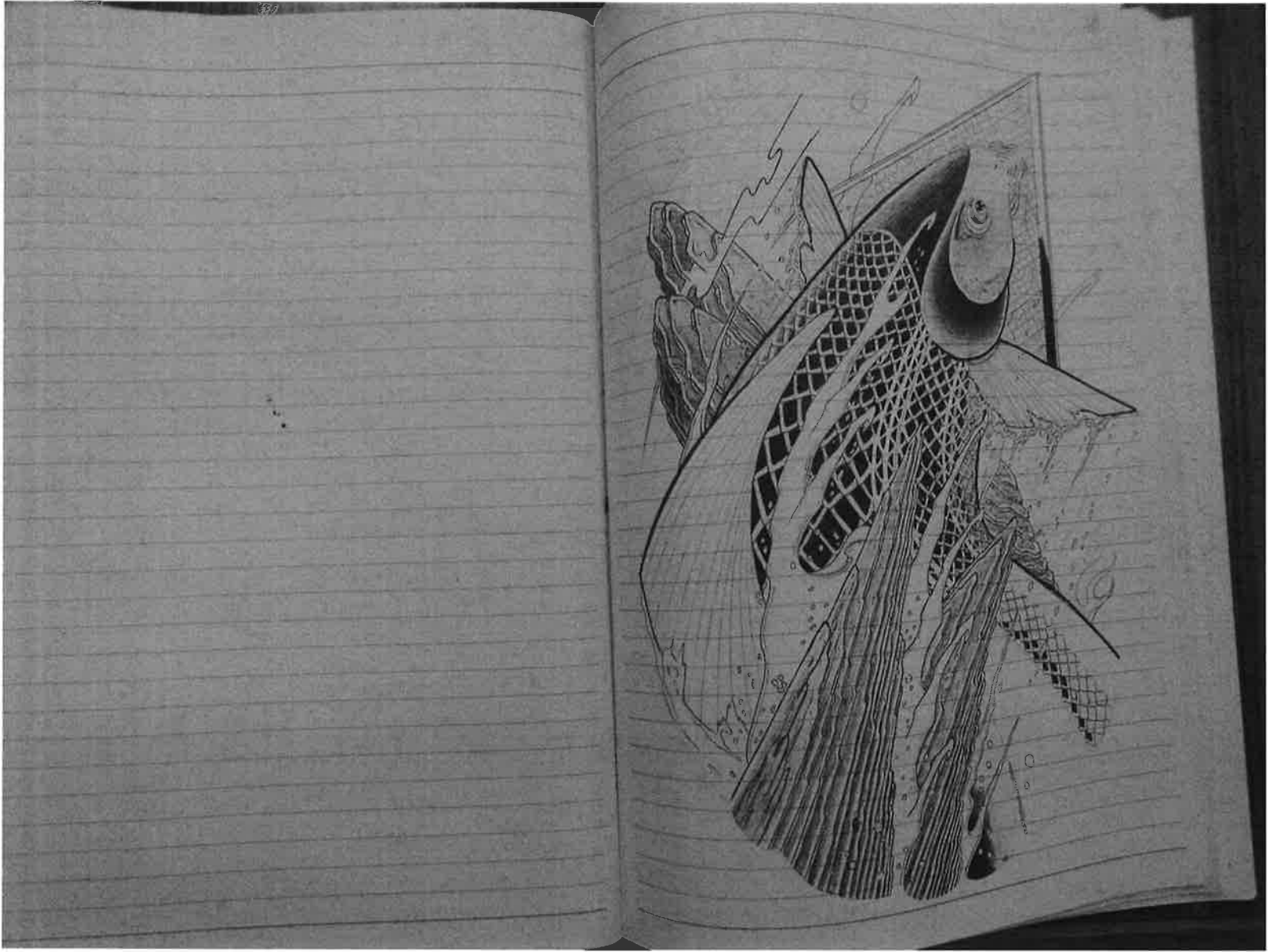


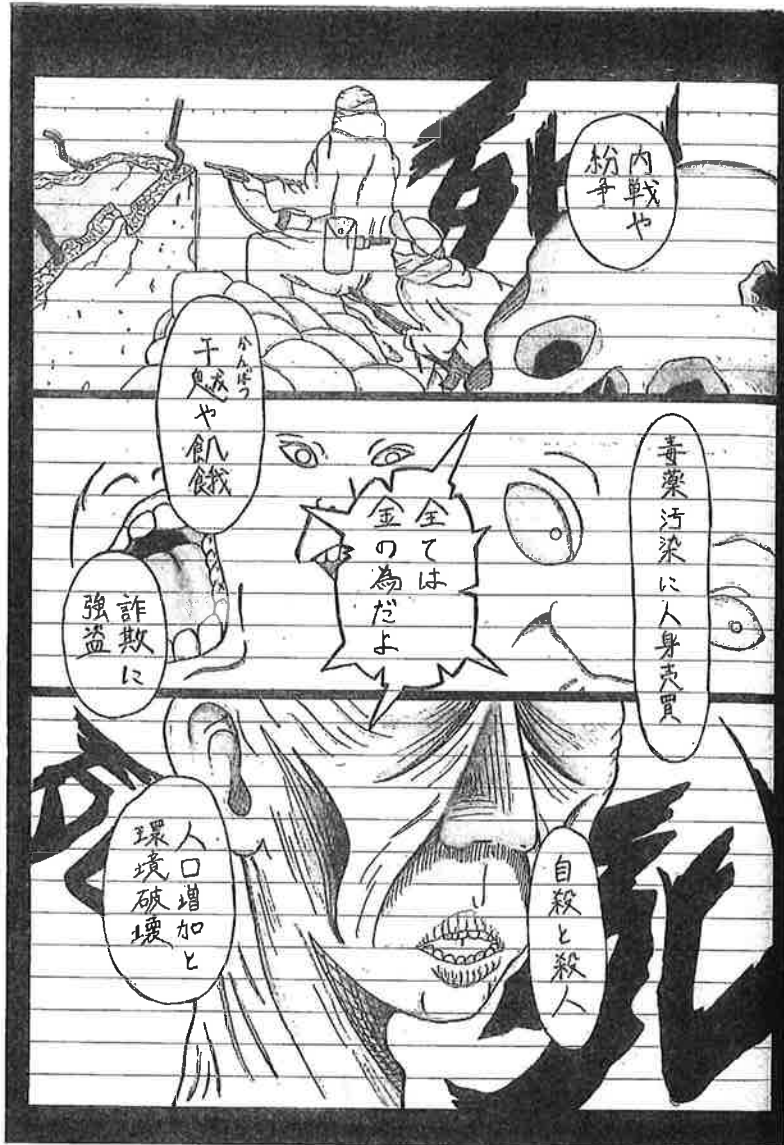
植松聖獄中ノ一卜

新日本秩序

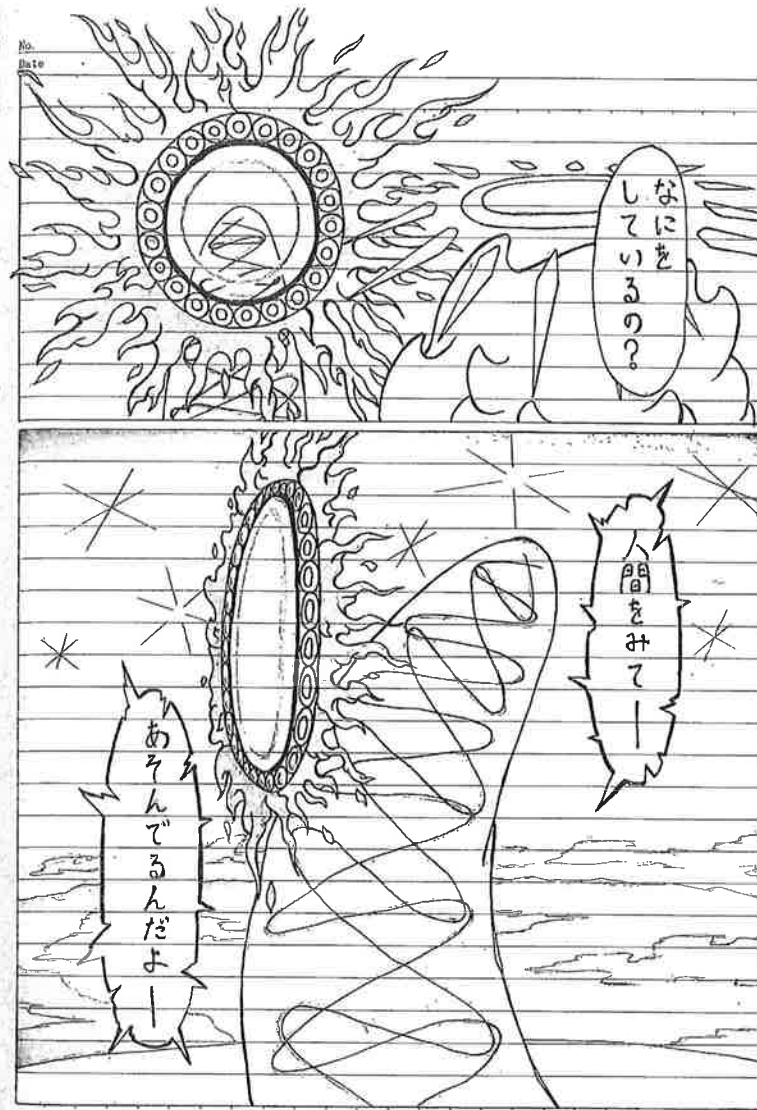
植松被告が獄中で描いたマンガ

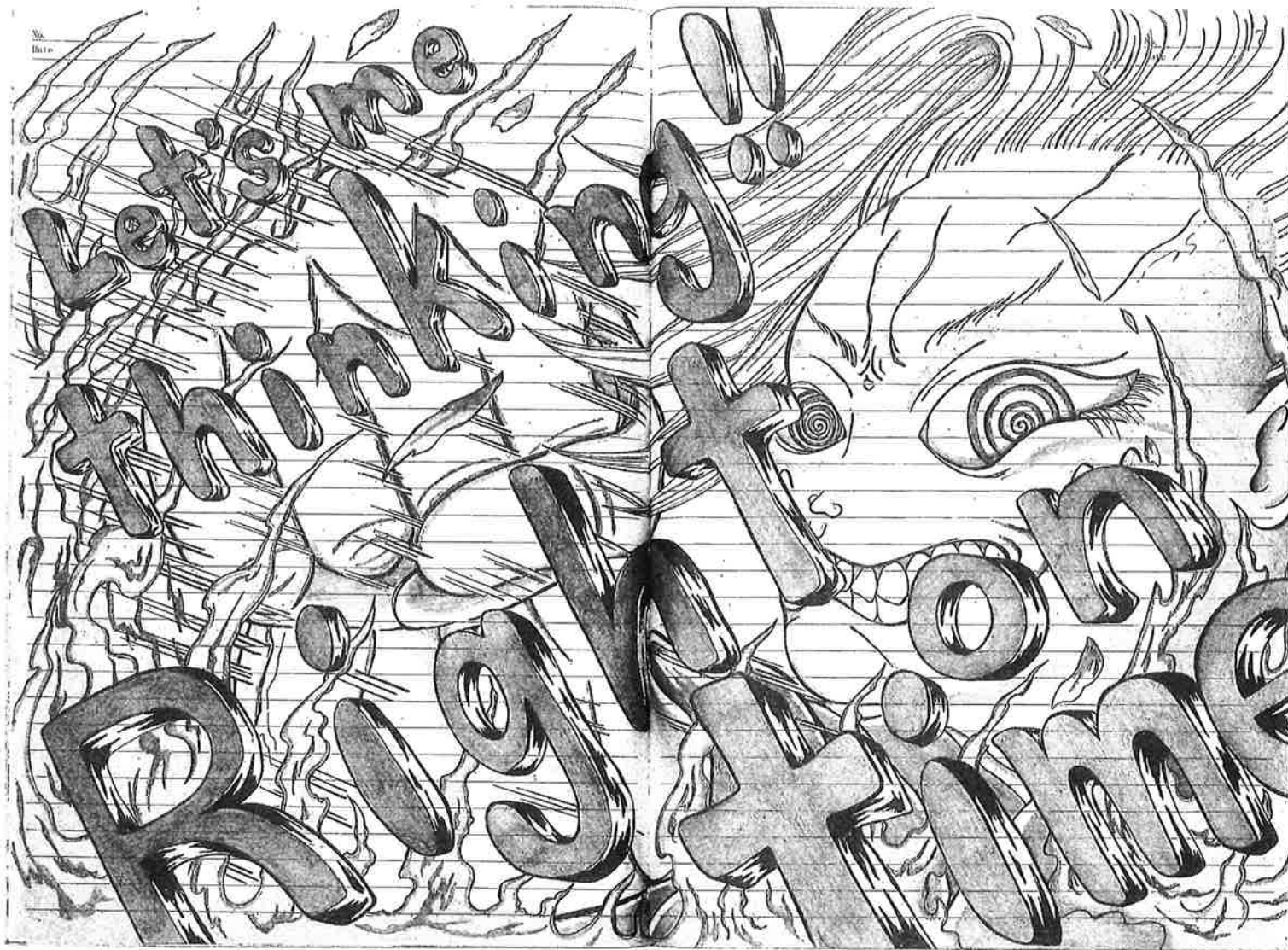
- 「開けられたパンドラの箱」に全編収録





99 植松被告が獄中で描いたマンガ





開けられた パンドラの箱

やまゆり園障害者殺傷事件

あの衝撃的な事件を風化させてはならない!

2016年、19人の障害者を刺殺した衝撃的なやまゆり園事件。障害のある人たちの恐怖がいまだに消えないのと対照的に一般の人たちにとっては事件は過去のものになりつつあるかに見える。植松聖被告の動機の解明もできず、事件を二度と起こさないためにどうするかという社会的対策も何も講じられない状態で、この事件をこのまま風化させてよいのだろうか。

〈目次より〉

1

植松聖被告に動機を問う

- 植松被告が面会室で語ったヒトラーの思想との違い
- 編集部へ送られた手紙
- 「どの命も大切だ」という考えはないの？」
- 被告が語った津久井やまゆり園での仕事
- 何が被告を事件に追いやったのか
- 衆院議長への手紙から措置入院へ
- 被告がつづった犯行後の出頭状況

2

事件とどう向き合うか

黙ってしまうと植松に負けたことになる……尾野剛志
社会にとって他人事でしかないやまゆり園事件を
どう引き受けるか……海老原宏美

娘・星子と暮らす身として植松青年には言わねばならない
……最首 悟

犠牲になった19人の「生きた証」を求めて……西角純志

3

精神科医はどう見るか

「思想」と「妄想」の曖昧な境界……香山リカ×松本俊彦

「包摂」か「排除」か——最終報告書を読んで……香山リカ×松本俊彦
相模原障害者殺傷事件と強制不妊手術の通底
……香山リカ×松本俊彦

措置入院をめぐる誤った見方……斎藤 環

会場にて特価1500円(税込)で販売!
1,000円

創出版 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-13-27
Tel.03-3225-1413 Fax.03-3225-0898
mail@tsukuru.co.jp

やまゆり園
障害者殺傷事件

開けられた
パンドラの
箱



月刊「創」編集部編

あの衝撃的な
事件を
風化させては
ならない!

2016年、19人の障害者を刺殺した衝撃的なやまゆり園事件から既に2年を迎えた。障害のある人たちの恐怖がいまだに消えないのと対照的に一般の人たちにとっては事件は過去のものになりつつある。植松聖被告の動機の解明もできず、事件を二度と起こさないためにどうするかという社会的対策も何も講じられないまま、この事件をこのまま風化させてよいのだろうか。

創出版

月刊『創』3月号にて

「相模原事件裁判報告」

特集 新聞社の徹底研究

「プレミアムA」「朝日新聞EduA」など新たな試み

朝日新聞の「統合編集」体制強化

10

「読売新聞オンライン」スタートから1年…

読売新聞の「新聞Withデジタル」

18

昨年春に続いて、この春にも大幅な組織改編

毎日新聞「過去になかった大改革」

26

フィナンシャルタイムズとの連携もさらに進む

日本経済新聞の「デジタル化とグローバル化」

32

「産経新聞アンリミテッド(坂)」のスタートは…

産経新聞が取り組む新しい電子媒体

38

年末年始も1面トップは独自ネタで勝負

東京新聞の「権力監視」「地域密着」

44

相模原事件裁判報告

篠田博之

植松被告が接見で語った驚くべきこと

66

初公判での自傷行為について聞こうと接見したところ植松被告は面会室で驚くべき話を…

職員調書で明かされた凄惨犯行現場

72

法廷で読み上げられた津久井やまゆり園の職員たちの証言は背筋が凍るような内容だった

元交際相手が法廷で語った衝撃証言

77

元交際相手女性が出廷し、植松被告が事件前にどう変わっていったかを証言した

死刑台から半歩戻った男の獄中手記

山田浩二

死刑確定者となつて

生きる意味について考えた

82

大阪高裁異例決定直後に山田被告に接見した……

篠田博之

The Tsukuru
2020
3
Contents

事件と報道について特集している雑誌、月刊『創』(つくる)。相模原事件については 2016 年の発生当初から一貫して追いつけています。2018 年7月までの連載をまとめたのが『開けられたパンドラの箱』ですが、その刊行後も『創』はほぼ毎号、この事件をフォローし、最新号では裁判報告を掲載しています。

本日、会場にて特価 **500円** で販売!

